

東芝のデジタル技術により発電事業者様、小売事業者様、需要家様のカーボンニュートラルを実現します

Toshiba's digital technology enables carbon neutrality for generators, electricity retailers, and consumers

デジタル技術で再エネの最適運用を実現し発電側の収益最大化及び、再エネ導入促進と電力の安定供給の両立

■再エネ電気を「つくる」

複数の電源を束ね、インバランスの抑制と収益最大化が可能です。疑似FIT(長期・固定価格)買取で事業性の見通しが良くなります

■レジリエンスを高めるμEMS™「おくる」

再エネ+蓄電池を活用することにより、非常時はマイクログリッドを形成しレジリエンスを高め、常時は再エネと蓄電池の最適運用によりマネタイズします

■再エネ電気を「ためる」

再エネの蓄電池を最大限に活用し電力卸市場、需給調整市場、容量市場への対応を行い、社会貢献と収益性の向上を行います

■再エネ電気を「かしこくつかう」

東芝に集まる再エネ電源をもとに必要な電力量の調達を支援します
また、非化石証書の調達による、カーボンニュートラル達成を手助けします



フィジカルPPA組成事例(日本ベネックス様 国際航業様)

- 太陽光発電所をFIT→FIPへ切り替え、東芝が発電BGを構成し、日本ベネックス様から固定価格で再エネを買い取り、国際航業様に相対取引で売電します。
- 当社が東芝ネクストクラフトベルケの提供する再エネバランシングシステムを活用し、計画値同時同量業務と取引業務を行います。
- 当社がバランシング責務を負うことで、日本ベネックス様はバランシング責務を負うことなく、さらにプレミアムを受け取ることができます。

